

阿岐のまほろば Vol. 6

整然と並んだ建物跡

あきこくぶんじとうほう よしゆき
安芸国分寺東方遺跡 (東広島市西条町吉行)



掘立柱建物跡

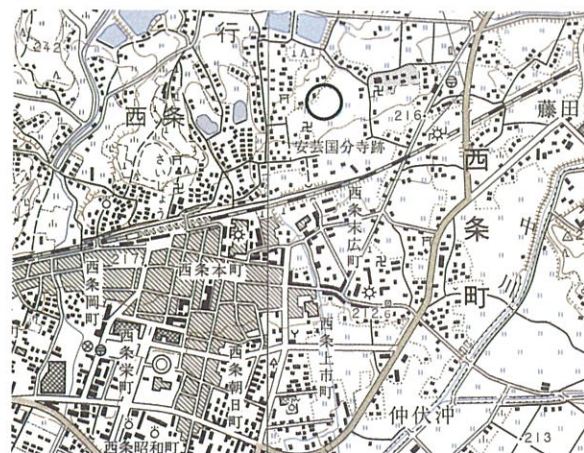
安芸国分寺東方遺跡は、史跡安芸国分寺跡の北東、北から南に向かって緩やかに傾斜する田園地帯に位置する遺跡です。

個人住宅の建設に伴って、平成7年7月から8月まで約250㎡の範囲を発掘調査しました。

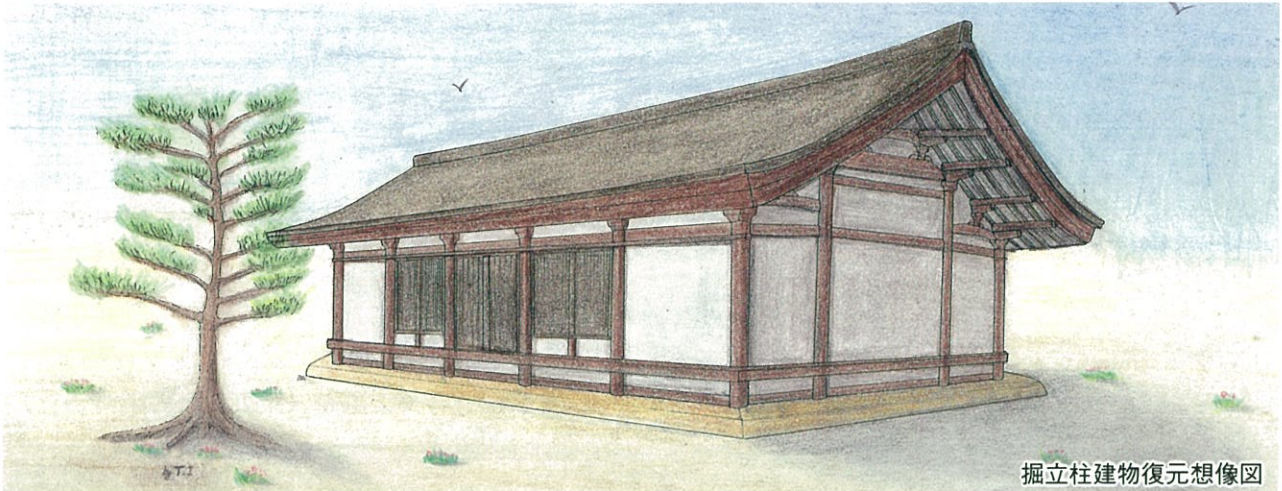
調査の結果、平安時代初期の掘立柱建物跡や溝が見つかりました。

掘立柱建物跡は全部で5棟あり、もっとも古い1棟を除いて、方向がそろった建物跡でした。

このうち、中心になるのは北側の建物跡 (写真)です。



安芸国分寺東方遺跡位置図 (1:50,000)



掘立柱建物復元想像図

この建物跡は、東西約10m、南北約7.5mで、柱間の数は東西が5間、南北が3間ありました。柱穴の大きさは、直径約80cm、深さは、深いもので約50cmでした。

柱の並びから考えると草葺きか板葺きの切妻屋根の大きな建物だったことが想像されます。

西端の柱穴の一つには直径約30cmの柱の一部がそのまま残っていました。柱の材質は檜で断面の形は円形でした。丸い柱は加工が難しいので、一般の住宅に用いられることはありませんでした。しかも、柱には檜を使っていますので、相当立派な建物だったのでしょうか。おそらく、法隆寺東院にある伝法堂が現存する建物としては最も近いものと考えられます。

また、この調査では、狭い範囲から多くの遺物が出土しています。最も多いのは、須恵器と呼ばれる灰色の陶器で、椀や皿のほか甕、僧侶が托鉢や飲食に使う鉄鉢形の須恵器もありました。



墨書土器「松上家」

須恵器の椀の中には、文字の書かれたものはいくつかありました。しかし、意味のわかるものは数少なく、「松上家」、「講院」、「井」などがありました。それぞれ土器の保管された場所を示していると思われます。

また、今回の調査では、仏像の頭部にはめ込まれていたと考えられる水晶製の白毫が出土しました。白毫の出土は、全国でも稀で貴重です。



白毫

史跡安芸国分寺跡は、奈良時代に聖武天皇が全国に造らせた国分寺の一つで、昭和44年から昭和46年にかけて一部が発掘され、南門や講堂などの場所が明らかになっています。

今回調査を行った場所は、指定区域のすぐ隣にあたっており、安芸国分寺との深い関係が考えられます。

大きな寺院の周辺には、寺を支える多くのひとびとが暮らしていたと考えられます。安芸国分寺東方遺跡がどのような施設だったのか明らかではありませんが、鉄鉢形の土器や白毫が出土していることから国分寺に関係の深い僧侶が住んでいたのかもしれない。

住いの祈り

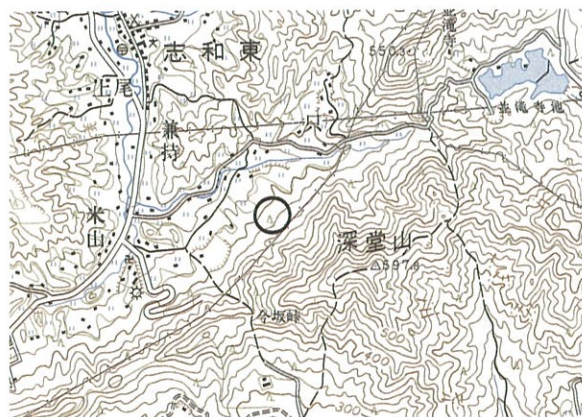
おごえ
小越遺跡 (東広島市志和町志和東)



志和町志和東の丘陵上にある小越遺跡は、流通団地造成事業にともない、平成7年7月から発掘調査を進めています。

今年度は、約3,000㎡を調査し、弥生時代中期の竪穴住居跡などが検出されています。

写真の住居跡は、自然石を多く含む山を削り込んでつくられているので、壁に石がたくさん出ています。このままでは壁がガタガタですから、こ



小越遺跡位置図 (1:50,000)



ミニチュア土器

の表面に粘土混じりの土を、きれいに塗っていたようです。この壁土の中から、高さが3.4cm程の小さな土器が1点出土しています。

煮炊きや貯蔵などに使われる土器と違って実用的でない、このような小さな土器を、ミニチュア土器などと呼んでいます。多くは祭祀に使われたと考えられています。

おそらくこの土器は、家をつくる時に、大地を鎮め、災害や病気などの災いがおこらないことを祈りつつ、壁に塗り込められたのでしょう。

街中に弥生時代はじめのムラ出現

こにし
小西遺跡 (東広島市西条町西条東)



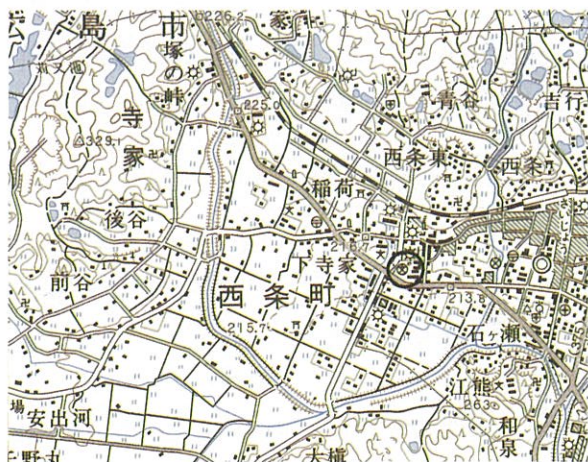
小西遺跡空中写真(写真上が南)

小西遺跡は、西条町西条東に存在します。西条中央巡回線改良工事に伴って、平成7年5月から10月まで発掘調査を実施しました。

調査の結果、土壙や自然流路などから弥生土器がみつき、この場所に弥生時代が始まった頃のムラがあったことが明らかになりました。

出土した土器の中には、^こ窺で連弧の文様(木葉文)を描いたもの(写真)も出土しており、この時期の特徴をよく現したものです。

本遺跡の周辺は、家が建ち並んでいますが、地下には弥生のムラが、埋もれているようです。



小西遺跡位置図(1:50,000)



木葉文のある壺形土器

☆☆『阿岐のまほろば』は、東広島市内の発掘調査を速報的にお知らせするため、無料の不定期刊行としています。市役所・市民文化センター・図書館などでお受け取り下さい。また、在庫がない場合は直接文化財センターにご連絡下さい。

(財)東広島市教育文化振興事業団 文化財センター報

阿岐のまほろば Vol. 6

発行日 平成8年3月25日

編集・発行 財団法人東広島市教育文化振興事業団 文化財センター

東広島市西条町大字馬木541-1

TEL 0824-25-3880 〒739